

平成 27 年度事業報告書

公益社団法人臨床心臓病学教育研究会

公益目的事業

公-1 医療従事者（医師、薬剤師、研修医、看護師、臨床検査技師、医学生等）の能力・資質向上を図るための研修等事業

1. 研修事業

(1) 臨床心臓病研修会（年9回、土曜日午後15:00-16:30、会場：ジェックス研修センター）

参加者計：174名 受講料：会員無料、会員以外 1000円

開催日	テーマ	講師
平成27年 4月18日	生活習慣病と精神障害	大阪医科大学神経精神医学教室 助教 川茂聖哉先生
5月16日	ますます増える高齢者虚血性心疾患に どう対処していくか	大阪医科大学内科学 III 教室 循環器内科講師 谷川 淳先生
6月20日	心房細動に対する抗凝固療法の再考	大阪医科大学循環器内科助教 宮村昌利先生
9月12日	明日から使える糖尿病治療	北摂総合病院糖尿病・内分泌内科 糖尿病内科医長 竹内 徹先生
10月17日	チームでたたく糖尿病診療	愛仁会高槻病院 糖尿病内分泌内科 責任部長 富永洋一先生
11月21日	深部静脈血栓症(DVT)の診断と治療	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門肺循環科 辻 明宏先生
平成28年 1月23日	脳卒中と生活習慣病	祐生会みどりヶ丘病院 院長兼 脳神経外科部長 新井基弘先生
2月20日	心不全の診断と治療	大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 木岡秀隆先生
3月19日	循環器病予防を見据えた糖尿病薬の 使い方	国立循環器病研究センター 動脈硬化糖尿病内科医長 槇野久士先生

(2) 循環器専門ナース研修コース 受講料：155,000円（教材、夕食4回、税含む）

会場：ジェックス研修センター 参加者総数84名：各コース42名 講師陣：23名

夏季：H27/7/11-12、7/25-26、8/8-9、8/22-23 計40時間 講義・症例検討、グループ討議

冬季：H28/1/16-17、1/30-31、2/13-14、2/27-28 計40時間 内容は夏季と同じ。

(3) 「イチロー研修」：心臓病患者シミュレータを使った臨床研修

- ・指導者のためのベッドサイド講習会：

会 場：ジェックス研修センター

開催日：平成 27 年 6 月 6 日(土)～7 日(日)

受講料：1 万 5 千円 (テキスト代込 2 日間)

受講者：8 名

講 師：(ジェックス理事)：天野利男、高階経和、斎藤隆晴、木野昌也

- ・第 209 回日本内科学会近畿地方会と共催：研修医・学生のためのスキルアップセミナー

会 場：大阪国際交流センター

開催日：平成 27 年 9 月 12 日(土)

受講料：無料

受講者：5 名

- ・第 63 回日本心臓病学会学術集会：

会 場：パシフィコ横浜

開催日：平成 27 年 9 月 18 日(金)～20 日(日)

受講料：無料 (公開講座)

参加者：37 名

ジェックス共催：「心臓病患者シミュレータ (イチロー) を使用した症例検討」

及び「心臓診察における身体所見の取り方：イチローを使用して実践的研修」

共催法人の役割：日本内科学会近畿地方会、日本心臓病学会は、会場提供、案内、募集、研修用機材手配、受付業務等の責任を負う。

当法人担当役割：名義使用及び一部講師派遣による限定的協力

(4) 臨床検査技師のための「心エコー」研修：

会 場：北摂総合病院 (高槻市) 多目的ホール

開催日：平成 27/9/6 (日) 午前 10 時～午後 4 時 (5 時間コース)

受講料：会員 8000 円、会員以外：1 万円

第 2 回目開催：平成 28/2 月の日曜日 参加者予定 (2 回分計)：30 名

講 師：諏訪道博先生、超音波学会認定超音波検査師 4 人

<上記 2 回開催の予定が講師の都合で中止>

(5) 医学生・研修医・看護師・コメディカル (その他医療従事者) のための e-Learning：

当法人ホームページ上に学習用アプリケーションシステムである「e-Learning」を設け

掲載し、インターネットを通じて誰でも、何時でも、何処でも、何度でも学ぶことが出来る。

(6) 薬剤師のための医学講座：イチローを使用して学ぶ「バイタルサイン」

会 場：ジェックス研修センター

開催日時：平成 27 年 10 月 25 日(日) 9:00～16:30

受講料：会員 8000 円、会員以外 1 万円

参加者合計：14 名

講師：ジェックス理事 (高階経和、駒村和雄)

(7) 「2 日間で学ぶ心電図集中講座」

会 場：ジェックス研修センター

開催日：平成 27 年 11 月 7 日 (土) ～ 8 日 (日)

受講料：会員 1 万円、会員以外 1 万 2 千円 (テキスト、夕食代込)

参加者合計：25 名

講 師：ジェックス理事 (高階経和、木野昌也、小糸仁史)

(8) アジア・ハート・ハウス大阪セミナー <創立 30 周年記念>

会 場：ブリーゼプラザ「小ホール」

開催日時：平成 27 年 7 月 5 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

テーマ：「これからの日本の医療について考える」

「臨床医学と工学技術のコラボレーション」

対 談：次の 30 年を見据えて～若い人たちへのメッセージ～

河合忠一先生 vs 高階経和理事長

講 演：「医療、福祉分野において急拡大する工学の貢献」

講師：清水 優史 (東京工業大学名誉教授)

講 演：「高齢・単身者社会における医看工融合支援」

講師：大野 ゆう子 (大阪大学大学院 教授・医学博士)

対 談：講師 2 名の対談、会場を交えての意見交換

参加費：無料

参加者合計：155 名 (公 2 啓発事業と共通)

(9) 緩和ケアセミナー：

・会 場：大阪保健福祉専門学校・JECCS 共催)

・開催日時：平成 27 年 9 月 29 日 (火) 午後

・演 題：「緩和ケアについて」

・受講料：無料 (JECCS 共催)

・対 象：大阪保健福祉専門学校学生 150 名

<講師 Julie Paul,氏が直前になって家族急病のため訪日中止となり講演会は取止めとなった>

(10) 循環器専門ナース研修修了生のための OG・OB 会

会 場：ジェックス研修センター

開催日時：平成 27 年 9 月 30 日（水） 午後 3 時～午後 6 時

参加費：無料

参加予定者：19 名

講 師：Julie Paul 氏、バンクシア緩和ケア・サービス法人

<講師 Julie Paul 氏の訪日が中止となったため取り止めとなった>

2. 医療従事者に対する上記事業の情報提供・広報事業：

- ・年 6 回刊行（毎回 1,000 部）の機関誌「ニューズレター」、ホームページを通じて上記事業についての情報を提供する。
- ・「アジア・ハート・ハウス大阪セミナー」の内容は、抄録本として 2016 年 1 月 20 日、700 部刊行されセミナー参加者、医療者他に配布された。
- ・医療情報誌「シュネラー」に当法人理事長が定期的に記事を寄稿。
発行：株式会社ファルコバイオシステムズ「シュネラー」編集局：季刊各 1 万 2 千部
対象：全国の医師、医科大学、大学医学部、病院医師等

公-2 一般市民を対象にした生活習慣病予防のための知識普及・啓発事業

1. 一般市民向けの公開講座・セミナー事業

(1) 生活習慣病研修会 (年9回、水曜日午後14:00~15:30、ジェックス研修センター)

参加者合計：314名 受講料：無料

開催日	テーマ	講師
平成27年 4月8日	糖尿病とうまく付き合う ～知識と知恵をつけて～	高槻赤十字病院 糖尿病・内分泌・ 生活習慣病科 部長 金子至寿佳先生
5月13日	高齢者と糖尿病 ～あなたの骨と筋肉は大丈夫?～	大阪医科大学 糖尿病代謝・内分泌内科 助教 金網規夫先生
6月10日	ストレスと精神疾患 ～こころ健やかな生活のためのアドバイス～	稲田クリニック 稲田泰之先生
9月9日	心房細動という名の不整脈 ～寝たきりにならないために～	大阪医科大学内科学 III・循環器内科 宮村昌利先生
10月14日	虚血性心疾患と動脈硬化症	吹田徳洲会病院 循環器内科部長 天野知徳先生
11月11日	不整脈って何? ～ほっとけない不整脈の見分け方～	高槻病院副院長兼 不整脈センター センター長 山城荒平先生
平成28年 1月13日	よくある腰痛、怖い腰痛の話	大阪医科大学整形外科 馬場一郎先生
2月17日	糖尿病と認知症	藍野病院中央診療部長兼地域医療 連携センター長 山本直宗先生
3月9日	認知症の理解を深める	大阪医科大学神経精神科助教 山内 繁先生

(2) 地方自治体の実施する講演会等での講義事業 受講料：無料

地方自治体が主催する市民を対象とした講演会（老人クラブ、地域女性団体協議会等）に協力し、講師として当法人の理事を派遣する。

- ・開催時期：平均月1回、90分程度
- ・主な派遣先：大阪市教育委員会、シニア大学、高齢者生きがい創造協会等

(3) 理事長特別講演会

- ・演 題：「私が歩んできた臨床心臓病学 ～聴診器と共に～」
- ・会 場：ジェックス研修センター
- ・開催日時：平成 27 年 6 月 13 日（土） 午後 2 時～午後 3 時 30 分
- ・参加費：無料
- ・参加者合計：23 名

(4) アジア・ハート・ハウス大阪セミナー <創立 30 周年記念>

開催日時：平成 27 年 7 月 5 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

会 場：ブリーゼプラザ「小ホール」

テーマ：「これからの日本の医療について考える」

「臨床医学と工学技術のコラボレーション」

対 談：次の 30 年を見据えて～若い人たちへのメッセージ～

河合忠一先生 vs 高階経和理事長

講 演：「医療、福祉分野において急拡大する工学の貢献」

講師：清水 優史（東京工業大学名誉教授）

講 演：「高齢・単身者社会における医看工融合支援」

講師：大野 ゆう子（大阪大学大学院 教授・医学博士）

対 談：講師 2 名の対談、会場を交えての意見交換

参加費：無料

参加者合計：155 名（公 1 研修事業と共通）

2. 一般市民に対する情報提供・広報事業

(1) 一般市民に対する広報事業

インターネットによるホームページを通じて事業・セミナー等の内容を掲載した。また、生活習慣病予防の基礎知識について情報提供した。「あなたの症状にお答えします」欄では、ジェックス担当理事等が適切な回答、提案をした。

当法人の機関誌「ニュースレター」、その他の出版物の刊行を通じて一般市民に情報提供や知識啓発等を図った。

(2) 月刊誌「ニューライフ」への寄稿事業

大阪府を中心に発行部数 18 万部の月刊誌「ニューライフ」に当法人会長が毎月ボランティアとして生活習慣病予防や医療制度について解説する記事を寄稿した。

発行・編集：(株) ニューライフ 大阪市淀川区西中島 7 丁目 9-12

対象：生活協同組合、主婦一般、書店で販売されている：定価 320 円

平成 27 年発行月： タイトル

4 月号：精神作用と健康 1

5 月号：精神作用と健康 2

6 月号：精神作用と健康 3

7 月号：血圧の正常値をめぐる騒動

9 月 10 月号：高血圧にまつわる様々な誤解 1、2

11 月号：高血圧にまつわる様々な誤解 3、治療の進歩と問題点

12 月号：高血圧にまつわる様々な誤解 4、無塩米飯食（ライス・ダイエット）の効果

平成 28 年発行月：

1 月号：高血圧にまつわる様々な誤解 5、塩分摂取量と高血圧の関係

3 月号：高血圧にまつわる様々な誤解 6、塩分摂取量と高血圧の関係 2

公－3 臨床心臓病学に関する医師、看護師及び医学生向け海外研修の参加費用助成事業

1. 助成事業

- (1) Japan Myanmar Medical Help Group (JMMHG)、Myanmar Radiology Society との Echocardiography Advanced Course 共同研修会：

実施時期：平成 27 年 8 月 13 日(木)～17 日(月)

会 場：Training Center, Yangon General Hospital

対 象：ミャンマー放射線学会会員医師 70 名

参加費：無料

ミャンマー放射線学会からの招請で医師 2 名（ジェックス理事：小糸仁史、駒村和雄）がボランティアとして参加。JMMHG タンター医師の計らいでボランティア患者 6 名の協力による「心エコー」のハンズオン研修を含む。ミャンマーでは、臨床心臓病の専門医は、全国で放射線医の 300 名に対して 30 名程度しかいないのが現実であるとのことで今後もジェックスの協力が望まれている。講師 2 名の航空運賃を含む交通費を助成した。

- (2) 平成 27 年度「第 7 回看護師のためのオーストラリア研修助成事業」

対象は、循環器専門ナース研修修了生から 4 名の希望者を応募作文により選考した。緩和医療全般、家庭における介護医療等について、オーストラリア、メルボルン郊外のバンクシア緩和ケア・サービス法人にて学ぶ他、病院、介護ホーム並びに個人宅訪問を含めた 4 日間の研修。通訳を含む研修費の部分を助成した。

研修募集要項発表：平成 27 年 6 月中旬

応募期間：平成 27 年 8 月 1 日～8 月 31 日

書類選考：平成 27 年 9 月 7 日（月）

理事会承認：平成 27 年 9 月 10 日

選考発表：平成 27 年 10 月 1 日、当法人ホームページ上にて

海外研修実施時期：平成 28 年 2 月 20 日（土）～27 日（土）

参加者は、レポート提出が義務付けられ、それらは、当法人のホームページ、機関誌「ニュースレター」上に掲載された。

2. 上記事業の情報提供・広報事業：

- ・年 6 回発行（毎回 1,000 部）の機関誌「ニュースレター」、ホームページを通じて上記事業についての情報（写真を含む）を提供した。